

マイナスエネルギーによる体験

私、Lapis Lazuliのマイナスエネルギー（俗に言う悪霊）による体験を記載いたします。

それは3年前の春のことでした。高校に入学し、学校が主催している新入生勉強合宿に行く数日前のこと。どこでマイナスエネルギーが憑いたのかはわかりませんが、ある1つのマイナスエネルギーに憑かれました。当時から、マイナスエネルギーに憑かれることは日常茶飯事でしたので、『いつものことか』と思っていたのです。

そのマイナスエネルギーは私の体ではなく、愛着していたブレスレットの方に憑いていたのです。ですが、今ほど除霊や浄化にまだ慣れていなかった頃でしたので、ブレスレットとは言えども浄化にはかなりの時間がかかりました。

なので、当時は勉強合宿から帰宅してからマイナスエネルギーを浄化すれば良いと安易に考えていたのです。

ですが、マイナスエネルギーは甘くはありませんでした。

勉強合宿中に私を襲ってきたのです（合宿中もブレスレットをつけていました。）

私は急に『母親が今すぐに死んでしまう』と心配するようになっていました。

なぜそんなことを思うのかわからない。何の根拠もないのにどうしてそんなことを思うのだろうとっていました。

そのマイナスエネルギーは私が『マイナスエネルギーのせいで』その様な状況に陥っていることを悟らせはしませんでした。単純に考えればすぐに解ることなのに、私はマイナスエネルギーに完全に操られてしまっていたのです。

帰宅後、私は合宿前より予定していた通り、ブレスレットを浄化しました。ですが、マイナスエネルギーは取れませんでした。完全にブレスレットの天然石と融合していたのです。

現在の私なら浄化できたでしょうが、当時の私は今ほどの能力もなく、なす術がありませんでした。

そのブレスレットをこれ以上使用することはできないと思った私は覚悟を決め、ブレスレットと私の心の連合を解除することにしました。

そしてマイナスエネルギーが融合したままのブレスレットをマイナスエネルギーが漏れない様、封をした上で処分しました。

すると、急に体が軽くなり、『母親がすぐに死んでしまう』と思う心もなくなったのです。

そう安堵していたその時、何者かが私の耳元でこう囁いたのです。

『Good Bye』

幼い女の子の声で囁かれたこの声に私は恐怖を全く覚えませんでした。

・後日談

私が自身の能力を高めてからこの事について守護霊様に詳細を伺いました。

- このマイナスエネルギーは母親を何らかの理由で失った英語圏の女の子の霊である。私のブレスレットに憑依した事で、女の子の感情が私の感情とリンクし私が『母親がすぐに死んでしまう』と思い込んでしまっていた。
- 私がブレスレットとの連合を解除した事で女の子との感情の結合も解除された。
- ブレスレットとの連合解除によりブレスレットはエネルギーを失い、女の子の霊も浄化された。
- 女の子の霊が浄化されたため、私に感謝の意を表するため『Good Bye』と言いにきた。

とのことでした。

それ以来、私はもっとスピリチュアルな事に関わり、マイナスエネルギーをただの厄介なものとして扱うのではなく、浄化を欲しているエネルギーとして関わる様になりました。

ですが、マイナスエネルギーに憑依されたままでは日常生活もままならないこともあります。

私は毎日、マイナスエネルギーを浄化し続けることをここがけています。

Lapis Lazuli